

日本原子力発電株式会社 東海第二発電所
原子炉設置変更許可申請（原子炉施設の変更）
の概要について

平成14年8月

1. 申請の概要

(1)申請者

日本原子力発電株式会社 取締役社長 鷲見 禎彦

(2)発電所名及び所在地

東海第二発電所

茨城県那珂郡東海村大字白方 1 番の 1

(3)原子炉の型式及び熱出力

東海第二発電所

型式 濃縮ウラン，軽水減速，軽水冷却，沸騰水型

熱出力 3,293MW （電気出力 約 1,100MW）

(4)申請年月日

平成 14 年 7 月 10 日（一部補正 平成 14 年 7 月 29 日）

(5)変更項目

残留熱除去系の蒸気凝縮系の機能を削除する。

(6)工期

本変更に係る工事計画は，第 1 図のとおりである。

(7)変更の工事に要する資金の額

変更に伴う工事に要する資金は，約 1 億円である。この工事に要する資金は，自己資金により調達する。

2. 変更の概要

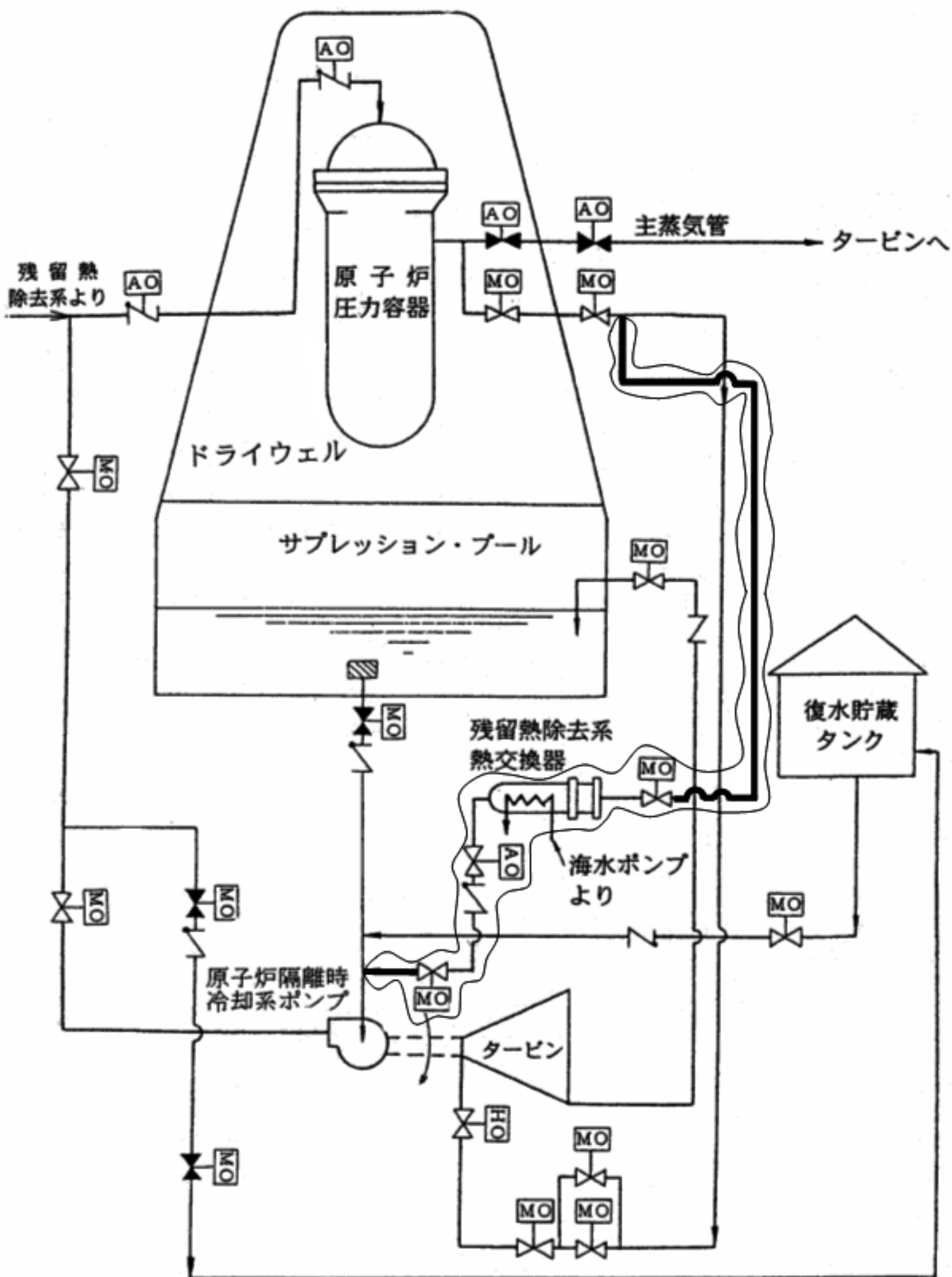
残留熱除去系の機能の一つである蒸気凝縮系は，原子炉隔離時に炉心の崩壊熱等を除去する機能を有しており，その凝縮水は原子炉隔離時冷却系の水源としても利用可能である。しかし，原子炉隔離時の炉心の崩壊熱等の除去については，通常の運転方法として，主蒸気を逃がし安全弁によってサブプレッション・チェンバのプール水中へ放出するとともに，原子炉隔離時冷却系の補給水により原子炉の水位維持を行うこととしており，蒸気凝縮系を用いる必要はないため，蒸気凝縮系の機能を削除することとした。

これに伴い，「ホ 原子炉冷却系統施設の構造及び設備」の記載の一部を最近の記載形式に合わせ，原子炉隔離時冷却系の水源を明確化するとともに，原子炉停止時冷却系を残留熱除去系の機能として整理し，残留熱除去系の機能に関する記載を明確化する。

（第 2 図参照）

年度 月 項目	平成14年度 (2002)											
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
残留熱除去系の 蒸気凝縮系の 機能削除に伴う 工事						△着工	△竣工					

第1図 工事計画



〰️：蒸気凝縮系を示す。

本系統はA系、B系の2系統ある。

—：機能削除範囲を示す。

第2図 原子炉隔離時冷却系系統概要図